

ごあいさつ

福島県中小企業家同友会 会長 丹治 一郎



福島県中小企業家同友会創立30周年にあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

同友会は、「良い会社をつくろう」「良い経営者になろう」「経営環境をよくしよう」という三つの目的のもとに、1977年(昭和52年)設立しました。当時の会員は、福島と郡山両地区あわせてわずか46名でした。全国的には20番目、東北地方では宮城県に次いで2番目の誕生でした。以来30年、同友会の輪は県内各地に広がり、創立30周年を1600名の会員で迎えられたことは誠に感無量なものがございます。

昭和52年と言いますと、第2次オイルショックがございました。日本国内の三分の一の企業は、経営危機に瀕するのではないかと言われたものです。そういう時に、我々経営者も、企業体質を良くするためには何をすべきか、まじめに勉強しようではないかということでの設立でした。

21世紀をむかえ、世界も日本もかつて経験したことの無い大変革期の中にあります。我々同友会は、会創立来、常に「激動と共に」「逆境こそチャンス」の姿勢でお互いの知恵と経験を惜しみなく交流し、教えあい、学びあい、励ましあいながら、自助努力の精神で相互研鑽に励んできております。

ますます厳しい経営環境が予想されますが、創立30周年を機に、「今こそ同友会の出番」の姿勢で同友会運動の輪をますます県内隅々に広げて参りたいと考えております。今後とも変らぬ関係各位のご指導、ご鞭撻を心よりお願い申し上げ挨拶とさせていただきます。